を期

前後

プで整備計画を策定路のうちワークショ路のうちワークショとに着手した。8即度より、新たに8即度より、新たに8即

つ所

で整備計画を策定して整備計画を策定した。8期地区を継続。21年より、新たに8期地区を継続。21年より、新たに8期地区を継続。21年より、新たに8期地区を継続。21年より、新潟南部5期及び

て7月7日から、

は8月31日まで、1埋転を実施した。1

ロまで、沢海 心した。両川 で、沢海

出を21両機開月

転穗経日川場始24

月末までの中干 舞潟機場は6月

7

期

地補修整備と平山排水路・中野山の各揚水機場の中野山の各揚水機場の、横越第1・第2・業(亀田郷地区)に

平成21年度

事 業 名

土地改良施設維持管理

基盤整備促進事業

県単農業<u>農村整備事業</u>

地域用水機能增進事業

国営造成施設管理体制 整備促進事業

地域農業水利施設

ストックマネジメント事業

地域水ネットワーク再生事業

農地有効利用支援整備事業

受 託 事 業 名 鳥屋野潟·栗ノ木川浄化対策

本所•蔵岡排水機場運転管理

管理体制整備推進活動

用排水路移設補償工事

県営事業の実施状況

地盤沈下対策事業

流域水質保全機能増進事業

(H20繰越)

(H20繰越)

地

(•

 \exists 竹

の各機場

は

9月5 舞潟

H 1 た

住

宅

地

X

を策定

水ネッ

1

ワー 地

ク

H21年度 団体営事業の施工状況

む

分と合わ20 日本地域水2

(亀田郷)

区

年

度繰り越

L

区分

補助

維持管理

H21年度

区 分

県営

※ 1 ※ 2

各区工事

環境用

水

665mを整備予定。

度は設計委託

延 長)・



度











○水利施設の状況 《水管理の状況》

を続開機

施シは行事ス体の1、しゃ県い業ト営各 ンヤッターのなれば、竹尾揚れてい、竹尾揚れてい、竹尾揚れ - の改修を実により電動に揚水機場で

した。

·各区水路

規模や緊急度に応じ、 をは 体現持

団実保つ にて対応した。 いほ をはかりながら、施保営等補助事業の導現するため、県営・持し円滑な用排水をいては、施設機能をいては、施設機能をいては、施設機能をはか、用排水路等に

したため、 21年度途

亀田郷管内土地改良事業

施 設

横越第1揚水機場·横越第2揚水機場·中野山揚水機場·平山排水路·荒所排水路

川根谷内支線2-3号用水路

(ハード)亀田排水路調整池

(ソフト)地域用水対策協議会

前田排水路

小杉用水路

竹尾揚水機場

大石排水路

多面的経費補助

(ソフト)冬期湛水

(ソフト)環境用水

(ソフト)冬期湛水

(ソフト)環境用オ

用水路14ヵ所

用水路5ヵ所

新潟南部5期 沢海揚水機場・両川用水路

阿賀幹線用水路

(ハード)清五郎排水路ほか

共通路線工事·維持管理

管理体制整備の推進

新潟南部7期 阿賀幹線用水路・亀田(上流部)排水路

清五郎(下流部)排水路

沢海・本所・竹尾機場運転操作

本所・蔵岡排水機場の運転管理

運転操作・保守点検・除塵作業

施 設

各機場の運転状況

本部事務所3階に設ていた中央管理所での遠隔操が、県営事業による親による親にはる親にはる親にはる親にはる親にはない。 水機場に移転 22年3月) より 親

《各種事業の実施状況》 県営事業

地域農業水利施設

利施設ス

地区名

横越

横越東2期

竹尾2期

亀田郷

阿賀野川左岸

亀田郷

"

亀田郷

"

大江山4

小杉十人割上

委託者

新潟南部8期

亀田組

新潟県

新潟市

新潟県

新潟市

新潟県

事

場は6月16日から、畑川揚水機場は4月から、それぞれる川揚水機場は4月23

○水管理の

いる。 (水利システム)

り、特に7月9日の降 本木の同時運転を要し は、本所3日、蔵岡1日、 は、本所3日、蔵岡1日、 は、本所3日、蔵岡1日、 で44・5時間は3機場合計 で44・5時間は3機場合計 年間降水量は過去5 年平均とほぼ同等の 1849・0 mであっ た。かんがい期間中は た。かんがい期間中は であったが、6月 であったが、6月 であったが、6月 であったが、6月 であったが、6月 び電力量 の用水を窓 平年排 99・5%と下 去5年平均) 比9·3% は、 の運 口 平転 転時間 った。 年 両 ロ 附 に 同 同 の が か 6 中 こ 降 あ け 月 は 間 (間。 過及14 っの5

を加用越繰を水東 完了した。 基盤整備 を実施し、 水路の管路 を実施し、 り上 管路 げ $\overline{\mathbb{X}}$ 促 Н 区) 増進

事Hの は、 業 12 護

工事内容

用水路口

排水路

用水路工

測量設計

護岸工

シャッター改修

ワークショップ等

排水路工 測量設計

施設補修 排水路工等

切梁設置工

調査·分析

調査·分析

水路工等

調査·分析

調査·分析

用水路工

用水路工

施設整備·管理

施設整備·管理

機場工・用水路工等

測量設計

排水路.

用水路工 排水路工等

28

事業量

151.8m

78m

885.1m

1.0式

1.0式

1.0式

1.0式

29本

1.0式

1.0式

1.0式

1.0式

1.0式

1.0式

1.0式

1.0式

2,963m

760m

1.0式

事業量

1.0式

1.0式

1.0式

1.0式

地域用水機能増進 業(亀田郷地区) 業(亀田郷地区) 業(亀田郷地区) が終了した。

(千円)

2,500

3,000

31,008

5,354

1,900

14,778

2,442

1.500

19,500

5,074

49,500

4,000

1,000

36.000

4.000

1,000

26,088

8,514

118,559

41,666

16,888

10,671

120,670

63,583

本年度 事業費

(千円)

341,250

519,960

159,495

4,200

217

業費

備考

H19~H21

H21~H23

H20~H21

H21

H12~H21

H12~H26

H20~H25

H20~H23

H21

H21

H21

H21

期間

4月~3月

4月~3月

5月~3月

10月~3月

4月~3月

H15~H23

H19~H25

H21~H27

H12~H22

H20~H26

進事業は、亀田郷地区で、水管理システム、 で、水管理システム、 を備が行われた。日 郷第2地区は、海老ヶ 郷排水路の整備と大渕 がおの設計が行われた。日 20 変の変形の変形の変形の変形の変形の変形を表れていません。 行期等 である。 事 の集積と営農体系の率化により、担い手水路の補修と取水の2地区、大江山4地区・地区で実施した。 0) 景 実施 証 調 整 査 備

生適正化事業は、II 土地改良施設維持 更が図られた。 内支線2―3号E過正化事業は、II 用川持 管 水根

谷 理

内適

や冬 等 して、竹尾揚水機場の 出21年度で完了した。 県単農業農村整備事 設で実施。川根谷内は 設で実施。川根谷内は 行シし ヤツ ター ターの改修を1尾2期地区と展業農村整備事

共通路線は、 繕 9 暗工事を実施。9654千円の クター 線は、 ルの管理は、 0) 47 溝畔 維 持

55 修 3

は施 プランツの 受け、グラ 水路促進事 フランツのない、グラン 1 を 9 年

修 4 スの増設、吸着資材の場合、オイルフェンを終工事を実施した。 1666千 各区路線は1 備蓄など、 ルフェン 円 資材 47件、 流の

ベ草除 を使 ず 械 をコし延除

この維持

線で実施した。 路]

を強等 化水 質 事 故 0)

対

策

管

国受・託 事

①鳥屋野潟・栗ノ木川 ①鳥屋野潟・栗ノ木川 ②本所・蔵岡排水機場 ②本所・蔵岡排水機場 可動(新潟県) 動(新潟県) 動(新潟県) 栗ノ木川 活 場 左

○**その他事業** ・環境用水の選 ・環境用水の選 渦市と連携して実施 沽用に係る事業を新 塚境用水の導入、利

(5) 理 親 松排水機 (新潟県) 活環 場 動境 運 を保 転

支全

市 か

21 29 23 28 8月31日終了 24 両川揚水機 23 21 30 28 舞潟揚水機 20 16 31 17 28 5 竹尾揚水機 苗代用水・両川・舞鴻 間断用水 中干し 間断用水 ・竹尾揚水機場 4日運転、3日停止

平成21年度 平 年 比 (%) 運転管理状況 電力量 (kw) (5,775,314.80) 5,747,022.00 平年比 (%) 運転時間 (h) 揚水機場 (35, 485, 60) <u>(14ヶ所)</u> 34,524.00 ※ ()は5ケ年平均 97. 3 99. 5

平成21年度の運転状況					
機場名	運転期間	運転日数	運転時間	0相	考
本所排水機場	6月21日~ 8月 7日	(4日間) 3日間	(13時間) 21時間		
蕨岡排水機場	7月 9日	(2月間) 1月間	(3時間30分) 3時間		
二本木排水機場	6月21日~ 8月 7日	(8月間) 4月間	(18時間30分) 20時間30分		
Bl-			(34時間30分) 44時間30分		

)は平成20年度